



災害は突然に ～防災について～

9月1日は「防災の日」でした。「防災の日」とは、台風、高潮、津波、地震などの災害についての認識を深め、それらの災害に対処する心構えを準備するための日として制定されました。また、8月30日から9月5日までは「防災週間」として定められています。このようなことから、秋口は防災について考え、お子様と話し合い、防災意識の向上につなげる良い機会にしてほしいと考えています。

2024年1月には、能登半島地震が起こり、その後、日本各地で震度5以上の地震が頻繁に起こりました。また、8月には、政府が南海トラフ巨大地震情報を初めて出しました。私たちの住む徳島県は、南海トラフ巨大地震が今後30年以内に70%を超える確率で起こることが想定されています。最悪の場合の死者数は約3万人。建物の倒壊は11万棟以上とも言われており、地震への備えは一刻も早く整えておかなければならない状況です。また近年は、台風や局地的な集中豪雨による水害や土砂災害も多く発生しています。このような状況において、あらゆる自然災害について知識を深め、自他の命を守ることができ力を子どもたちにもつけていく必要があります。

どうする?! 災害時の連絡手段

地震など大災害発生時は、安否確認、見舞、問合せなどの電話が急激に増加し、電話がつながり難い状況が発災当日から数日間続きます。そのようなときに便利なツールがあります。

○「災害用伝言ダイヤル」

災害用伝言ダイヤル(171)は、被災地の方などの電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。このサービスは震度6弱以上の地震発生時や、その他の災害発生時に無料で使うことができます。

○「すだちくんメール」

すだちくん SNS では、災害に関する情報をグループや地域コミュニティで共有が可能なサービスです。安否確認サービスに加え、平常時にも利用できるサービスもあるようです。その他、徳島県公式 LINE やツイッター等でも災害情報を得ることができます。



参考：徳島県庁ホームページより

災害用伝言ダイヤルの使いかた

<p>1</p> <p>PUSH 171</p> <p>「171」をダイヤルする。 携帯電話や 公衆電話でもOK。</p>	<p>2</p> <p>録音</p> <p>→ ①</p> <p>再生</p> <p>→ ②</p> <p>録音は「1」を、 再生は「2」を ダイヤルする。</p>
<p>3</p> <p>録音</p> <p>自分の 電話番号 0123-XX-XXXX</p> <p>再生</p> <p>相手の 電話番号</p> <p>録音は「自分の番号」、 再生は「相手の番号」 をダイヤルする。</p>	<p>4</p> <p>無事です</p> <p>→</p> <p>無事です</p> <p>音声ガイダンスに したがって、伝言を 録音または再生する。</p>

参考：幻冬舎刊「防災カードゲームシャッフル」(考案:NPO 法人プラス・アーツ)

千松小学校の人権教育～大切な子どものために家庭と学校が連携して～

「人権」とは、人間が人間らしく生きる権利で、人間はみんな生まれながらにもっています。日本国憲法でもすべての国民に保障されています。現在、子どもたちを取り巻く社会では人権が守られ、尊重されているでしょうか。残念ながら、いじめ問題やSNSでの誹謗中傷など、悲しい出来事が起こっています。これらの問題を解決していくためには、学校と家庭が力を合わせ、一人一人の子どもを大切にする人権教育を推進していかなければなりません。

本校では、相手の立場、気持ちや違いを認め思いやるとともに、人権問題を解決しようとする意欲と実践力をもった子どもの育成を目標にして、計画的に人権教育を行っています。様々な人権課題は、児童の発達段階にあわせて学習を進めています。学年を問わず取り組んでいることは、自尊感情を高めることや仲間づくりです。自尊感情とは、自分は必要な存在だ、役に立っているんだと思える大事な感情です。自尊感情に満たされた子は、周りの人も大切にすることができ、それは、仲間づくりにもつながっていきます。自分も仲間も大切にできる集団の中では、いじめや差別は生まれません。

そこで、保護者の皆様にお願いがあります。我が子を見てみると、できてないことに気付き叱ってしまうことが多くなりがちです。しかし、子どもたちは日々成長しています。できないことよりもできることに気付き、たくさんほめてあげてください。ほめられると、自尊感情が高まり自信をもって様々なことに取り組める力もついていきます。学校でも、同じように一人一人のよさを認め、声かけをしていきますので、学校と家庭が一緒になって、子どもたちの自尊感情を高めていけたらと思います。

今を生きる子どもたちが、自尊感情を高め、人権問題を解決していく実践力を身につけることは、すべての人の人権が尊重される社会の実現へとつながります。子どもの幸せを願いながら、地域・家庭・学校が連携して人権教育を推進していきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願いたします。

自主性・社会性を大切に ～クラブ活動～

クラブ活動は、共通の興味・関心を追求する活動を自発的・自治的に行うことによって、自主性・社会性を養い、個性の伸長を図ることを目的として行われています。本校には、16種類のクラブ活動があり、4年生以上の子どもたちが、自分の興味のあるクラブに入って、異なる学年の子どもたちと楽しく交流しています。

今年度初めてクラブ活動をする4年生は、他の学年と関わることに少し緊張する様子もありましたが、先輩たちと楽しく交流する姿が見られるようになりました。5年生は、昨年度とは違うクラブ活動にチャレンジする子も多くいて、自分の興味・関心を広めている様子が見られました。最高学年の6年生は、これまで見てきた先輩方の姿から学び、クラブの中心となって4年生・5年生を引っ張ってくれています。中には、部長や副部長、書記に進んで立候補する子もいて、自分の仕事に責任をもって取り組んでいます。

どの学年もクラブ活動後には、楽しかった思い出を嬉しそうに話してくれ、次のクラブ活動を待ち遠しく感じているようです。これからも、子どもたちの自主性、社会性を大切にしながら、生き生きと活動できるよう、指導・支援に努めていきます。

